

<セミナー参加報告：平田洋一幹事>

国際ロータリー第2790地区

国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会合同セミナー報告

■テーマ「実践的な国際奉仕活動と未来の夢計画」

日時 2013年8月3日(土)

場所 京葉銀行文化プラザ

ロータリー財団の資金を有効に使った例として、東京北クラブのタイダム建設の発表があった。その他にも松戸中央RCでは、「バリ島支援プロジェクト」としてバリ島に住む貧困層に対する教育支援プロジェクト。船橋東RCでは、「ミャンマーの小学校・トイレ補修支援プロジェクト」として2008年のサイクロンルギスで影響を受けた小学校のトイレの補修工事。銚子RCでは、「ミンダミオ島盲学校支援プロジェクト」として盲学校にトランペット他、楽器を贈呈し、盲学校の音楽教室の充実に協力した。

このように、海外プロジェクトを実行するに「地区補助金・グローバル補助金・パッケージ・グラント」の3種類の補助金提供となります。

・地区補助金 (※)

地区補助金は、ロータリアンが、地元や海外で財団の使命に添った短期の活動やプロジェクトを実施するために活用できる補助金です。補助金は地区が管理し、一つまたは複数のプロジェクトに配分します。補助金を活用してプロジェクトを実施することを希望するクラブは、地区ロータリー財団委員会に申請する必要があります。各地区は、クラブからの申請方法や期日など、地区独自の手続きと方針を決めます。また、財団が定めている条件の他に、地区が要件を追加する場合があります。申請に関する詳細は、地区ロータリー財団委員会に於いて決定次第、各クラブにお知らせします。地区のホームページにもアップ致します。

・グローバル補助金

グローバル補助金は、以下に該当する大規模なプロジェクトに活用できる制度です。

- ・重点分野のすくなくとも1つに関連している
- ・実施地の地元社会の人々が特定したニーズに取り組む
- ・実施地の地元社会の人々が積極的に参加する
- ・ロータリー・クラブや地区による活動の終了後も、地域社会の人々が自分で取り組んでいくことが出来る
- ・測定可能な成果をもたらす

・パッケージ・グラント

パッケージ・グラントは、ロータリー財団と戦略パートナーが共同で立案した活動に、ロータリー・クラブが参加する機会を提供するものです。各プロジェクトは、財団の国際財団活動資金(WF)と戦略パートナーによって全額が賄われます。現在、次のようなプロジェクトがあります。

- ・大学に看護を教える教師を派遣
- ・ケニア等の国の看護婦が勉強するための奨学金を提供
- ・病院船に医師等を派遣

(※) 地区補助金

新しい補助金構成の下での地区補助金(District Grant)は従来の「地区補助金」(DSC=District Simplified Grant)とは異なることにご注意ください。新しい補助金構成への移行にあたり、従来の地区補助金と区別するために「新地区補助金」と呼ばれることもあります。

<クラブフォーラム：鈴木悦朗会員>

職業奉仕と社会奉仕についてディスカッションがおこなわれ、また具体的な職業奉仕のサービスについてそれぞれ発表があった。

社会奉仕基金 4,791円

《会報編集委員》 渕上啓太・高橋 修・織田証・大川隆永

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1983回 例会 2013年9月24日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会長 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

# WEEKLY REPORT

## <第1983回：例会プログラム>

12:30	点鐘 ロータリーソング (我等の生業) 斉唱	児山会長
12:33	お客様紹介	崎谷会長エレクト
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告	児山会長
13:10	幹事報告	平田幹事
13:15	<b>【委員会報告】</b> ロータリー情報研究会の報告 国際奉仕ロータリー財団委員会合同セミナーの報告	高橋進委員 平田幹事
	社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表 ニコニコ委員会 ニコニコ発表	高碓委員長 小林弘委員長
13:30	点鐘	児山会長
13:30	クラブフォーラム	鈴木委員長
14:00	終了	



写真提供：高橋修会員

## <会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。実りの秋がやってまいりました。新米や果物、秋刀魚と美味しい季節となりました。皆さんお身体の調子はいかがでしょうか？

さて ロータリーは親睦が大切だと言われますが その意味するところは何かでしょうか？ 親睦の意味について シェルドンは「親睦の本体は 円滑な人間関係の基礎的な法則を極めることにある。」と言っています。会員相互の人間関係を深めることに努力する。人間関係が深まることよって人格の触れ合いが濃くなり 相互啓発が進みます。そしてより高い徳が備わることになります。己を制御し 相手を思いやる寛容な心を育むことができるということなのです。幸いにもロータリーでは全ての会員は平等の立場で交わることを原則としています。この考え方は大変魅力があり他の集団では見当たらないことなのです。誰でも気軽に声を掛けられる そして接することが出来ると云う事は経営者として必要な資質の一つではないかと思われます。以上親睦についてお話ししました。

次に当クラブは平均年齢63歳のクラブであります。身体と相談しながら生活する事が大事になってまいります。そこで脳梗塞を発見する方法として顔の麻痺 腕の麻痺 ロレツが回らないといった典型的な症状をチェックするには 次の三つを覚えれば8~9割の症状を早期発見できるという効果的な方法があります。

- ① うまく笑顔がつかれるか？顔の片方がゆがんでしまう。「イー」と言えなくなる場合は麻痺していると考えられます。
- ② 手のひらを上にして両腕を前方に上げたままキープできるか？麻痺が出ている場合 目をつぶると腕が少しずつ下がってきます。
- ③ 「ラリルレロ」「パピペポ」と正確に言えますか？声に出して確認する。

以上の三つの内どれか一つでも当てはまった場合は発症と考えて直ぐに病院に行きましょう。

どうぞチェックしてみてください。

これにて挨拶とさせていただきます



## <幹事報告：平田洋一幹事>

- 松戸中央ロータリークラブ：9月26日（木）夜間移動例会に変更  
点鐘18：00 場所「玄米ダイニング元気モリモリ」
- 松戸ロータリークラブ：10月2日（木）定款第6条第1節により休会
- お知らせ：ロータリーカードに新しくビジネスカードができました。



# WEEKLY REPORT

## <委員会報告：ロータリー情報研究会：高橋 進委員>

去る9月1日（日）13：00~17：00まで 西船橋のフローラ西船におきまして、国際ロータリー第2780地区、2013-14年度ロータリー情報研究会に、渡辺敏弘ガバナー補佐とロータリー情報・職業分類委員会の委員長 鈴木悦朗会員と私の3人で出席してまいりました。

1. ①主テーマ「会員増強の意義について」（3000名を目指す）  
②選別的サブテーマ a.例会の重要性について  
b.職業奉仕の重要性について
2. 出席者2名の資格  
①各クラブの情報委員長  
②原則10年以上在籍のベテラン・ロータリアン



3. 全体会議  
杉木研修リーダー.....基調講演  
白鳥研修委員.....基調講演  
関口ガバナー挨拶

4. 各テーブルガバナー補佐の司会（全14テーブル）で主テーマとサブテーマの討論が進められました。  
12分区テーブルは  
共通のテーマの「会員増強の意義について」  
サブテーマの「職業奉仕の重要性について」の議論が活発に行われました。

会員増強でのディスカッションの中では、新入会員に対して、2人の会員がサポートするとのことでした。年齢が近いといろいろと支障があるので、若い会員とベテラン会員とで面倒をみるクラブがありました。

入会時は一人ぼっちにさせられるシーンをよく見かけられますから、退会防止にもいろいろ教える良い制度と思います。当クラブも即取り入れるべきと思いました。

職業奉仕の重要性についても、いろいろな意見交換がありました。松戸東クラブの会員が、「私がロータリークラブにいるのは職業奉仕があるから」と言っていたのが印象的でした。

12分区皆さんの意見の箇条書きをまとめて発表したロータリーの職業奉仕とは次の通りです。

ロータリーは初めの頃、荒廃した社会を背景に異業種の職業人が仕事の助け合いと、親睦を目的に始まり、そして社会奉仕に発展していきます。

一方では職業人の集まりですから、必然的に職業の在り方として理念が生まれて、ロータリーの職業奉仕が誕生したようです。

その理念が「超我の奉仕」最も奉仕する者、最も報いられるです。ロータリーは寄付団体でもボランティア団体でもなく、正に倫理団体と言っている方もおります。

ロータリーは自分を磨き、人を育て、時にはボランティアをする団体という方もおります。私達が理解する職業奉仕とは、自からに向けては己れを律する厳しい倫理を、外に向けては利他という大義を自らに課することとします。

「利」を求むるに道あり」という言葉があります。人間として正しい道を貫くこと、相手にも自分にも利があるようにすること「自利利他」の精神が職業奉仕ではないかと思ひます。